



TOHOKU
UNIVERSITY

世界を知る。

未来を考える。



SCHOOL 学部案内 | 東北大学 法学部
of LAW 2022
TOHOKU UNIVERSITY

伝統を受け継ぎ 未来を創る法学部の教育



東北大学大学院法学研究科長・法学部長
成瀬 幸典

東北大学法学部の前身である東北帝国大学法文学部が設置されたのは大正11年(1922年)、戦後、東北帝国大学が東北大学となり、法文学部が、法学部・経済学部・文学部に分かれたのが昭和24年(1949年)ですから、東北大学法学部の歴史は、前身から数えれば来年度に100周年を迎えることになり、法学部になってからでも70年以上になります。

東北大学法学部の教育目的は、法学・政治学に関する正確な基礎知識を身につけ、鋭い正義感覚と幅広い視野から社会に伏在する諸問題を発見・分析し、その解決に努めることを通じて、より良き社会の実現に貢献する人材(法政ジェネラリスト)の養成を行うことにあります。実際、これまでの長い歴史の中で、東北大学法学部は多くの優れた人材を社会に輩出してきました。それを可能としたのは、研究第一主義を掲げる東北大学を構成する一学部の教員として、法学・政治学の研究に打ち込み、その成果を学生への教育に注ぎ込んできた研究者と、学びの意欲に燃え、向学心・向上心に富んだ学生との相互交流にあったと思います。特に、教員と学生が相互に意見を述べあい、納得のいくまで議論を続けることのできる演習(ゼミ)は、少人数教育を特徴としてきた法学部の重要な授業科目です。東北大学法学部は、基本的に、自由選択制をとっており、ゼミの履修や卒業論文の提出を卒業要件としていませんので、大講義室における授業を履修し、単位を修得すれば、卒業することが可能です。しかし、多くの学生は、ゼミに参加し、当該分野の第一人者である教員や新進気鋭の若手研究者である教員と濃密な議論を重ねることによって、論理的に思考する力や、自分自身の考えや意見を相手に説得的に伝える力を涵養することに努めてきました。法学や政治学に関する理論的知識の習得だけでなく、社会人として備えていることが期待される論理的思考力・コミュニケーション能力を伸ばさせる教育が、優れた人材の輩出に寄与してきたのだと思います。

東北大学法学部は、上記のような伝統的な人材養成教育に加え、社会のグローバル化や法曹養成制度の改革といった現代的問題に対応する教育改革も行っており、前者との関係で国際コースを、後者との関係で法曹コースを設けました(その詳細は本パンフレットの関連項目をご覧ください)。これは国際的な活動に従事したいという学生や法曹になりたいという学生に対して、的確な教育を提供しようとするもので、従来の伝統的なカリキュラムを拡充し、教育の充実を図るものです。

東北大学法学部は、古き良き伝統を維持し、伸ばしながら、社会の変化やそれに伴う現代的問題に柔軟に対応し、社会の発展に寄与しうる人材の養成と研究成果の発信に努めていきます。

2021年4月1日

Contents

法学部長あいさつ	1
教育理念	2
教員一覧	3
東北大学法学部で学ぶ	5
学生の日から見た講義・演習	7
法学部生のキャンパスライフ	8
卒業後の進路は?	10
卒業生の進路	12
入試情報	13



東北大学法学部の教育理念及び教育目標

東北大学法学部では、法学・政治学に関する正確な基礎知識を身につけ、鋭い正義感覚と幅広い視野から社会に伏在する諸問題を発見・分析し、その解決に努めることをもって、良き社会の実現に貢献する人材、すなわち「法政ジェネラリスト」の養成を行うことを教育目的としています。

ディプロマ・ポリシー

東北大学法学部では、次に掲げる教育目的に従い、全学教育科目の単位を 39 単位以上及び専門教育科目の単位を 90 単位以上(うち私法・公法科目 2 単位以上、基礎法科目 2 単位以上及び政治学科目 2 単位以上)を修得した学生について、学士の学位を授与する。

- ①教養ある国際市民としての素養を備え、法学・政治学の正確な基礎的知識を修得し、鋭い正義感覚と幅広い視野に基づき、社会に生起する問題を発見かつ分析し、利害の衝突を未然に防止し、あるいは紛争を解決することにより良き社会の実現に貢献する人材(法政ジェネラリスト)を養成する。
- ②法学・政治学における学術研究または高度専門職(法政スペシャリスト)となるために共通の前提となる基礎的知識・素養と幅広い見識を有する人材を涵養する。
- ③グローバル社会において、指導的・中核的役割を果たす自覚と展望を持ち、その基となる国際的視野とコミュニケーション能力を有する人材を輩出する。

カリキュラム・ポリシー

東北大学法学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育目的の実現を目指して、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

- ①学部開講の授業科目を内容に即して「基礎講義」・「基幹講義」・「展開講義」のカテゴリーに分け、段階的に配置することによって法学・政治学の基礎的な内容を無理なく体系的に修得させる。
 - (1)「基礎講義」とは、1・2年次生を対象に、法や政治の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶことを目的とするもので、全学教育と連携しながら幅広い教養と視野を備えた人間の養成を図るものである。
 - (2)「基幹科目」とは、1年次後半から2・3年次にかけて、「基礎講義」の履修を前提として、法学・政治学の根幹をなす主要科目の修得を図るものである。
 - (3)「展開講義」とは、3・4年次において、法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな知見との修得を図るものである。
- ②段階的に配置された講義科目と併行して、1年次から4年次までの学部4年間全般にわたって、「基礎」・「基幹」・「展開」の各講義をフォローアップするため、少人数で開かれる「演習」を多数開講する。
- ③成績評価は、講義の場合は定期試験を中心に小テスト・受講態度・課題への取り組み等を総合して評価し、演習の場合は出席、発言の回数や質、課題への取り組み等を総合して評価する方法を原則とする。

*カリキュラムに関する記述は令和3年度のものです



教員一覽



教授
蘆立 順美

専門分野
知的財産法



教授
阿南 友亮

専門分野
中国近代政治史、
現代中国政治



教授
(公共政策大学院長)
飯島 淳子

専門分野
行政法



准教授
池田 悠太

専門分野
民法



准教授
井上 和治

専門分野
刑事訴訟法、英
米刑事訴訟法史



准教授
今津 綾子

専門分野
民事訴訟法



教授
今西 淳
専門分野
外交政策、多国間(マルチ)
外交、人間の安全保障、プ
ロトコル(儀典)等



理事 教授
植木 俊哉

専門分野
国際法学



准教授
宇野 瑛人

専門分野
民事訴訟法



教授
大内 孝

専門分野
西洋法制史



教授
大江 裕幸

専門分野
行政法



准教授
大谷 祐毅

専門分野
刑事訴訟法



教授
岡部 恭宜
専門分野
アジア政治経済
論、国際ポラン
ティア論



准教授
温 笑侗

専門分野
商 法



教授
鹿子生 浩輝

専門分野
政治思想史



教授
榊島 博志

専門分野
法理学



教授
北島 周作

専門分野
行政法



教授
櫛橋 明香

専門分野
民法



教授
久保野恵美子

専門分野
民法



准教授
桑村 裕美子

専門分野
労働法



准教授
坂下 陽輔

専門分野
刑法



教授
坂田 宏

専門分野
民事訴訟法



教授
坂本 忠久

専門分野
日本法制史



教授
(法科大学院長)
佐々木 弘通

専門分野
憲 法



教授
島田 明夫

専門分野
防災法、都市法、
都市環境政策



教授
芹澤 英明

専門分野
英米法



教授
仙台 光仁

専門分野
農林水産政策



教授
滝澤 紗矢子

専門分野
経済法



教授
嵩 さやか

専門分野
社会保障法



教授
得津 晶

専門分野
商 法



教授
戸澤 英典

専門分野
国際政治学



教授
鳥山 泰志

専門分野
民 法



教授
中林 暁生

専門分野
憲 法



教授
(法学研究科長・法学部長)
成瀬 幸典

専門分野
刑 法



教授
西岡 晋

専門分野
行政学



教授
西本 健太郎

専門分野
国際法



教授
橋本 敬史

専門分野
社会保障政策、
高齢者医療・介
護制度



教授
平田 武

専門分野
西洋政治史



教授
廣木 雅史

専門分野
環境政策、
環境法



教授
伏見 岳人

専門分野
日本政治外交史



准教授
藤原 健太郎

専門分野
租税法



教授
戸次 一夫

実務家(特許庁
審査官、審判官)



教授
森田 果

専門分野
商法、法の経済
分析、実証分析



准教授
諸岡 慧人

専門分野
行政法



教授
横田 正顕

専門分野
比較政治



教授
吉永 一行

専門分野
民 法



教授
吉原 和志

専門分野
商 法



准教授
ROOTS Maia

ヨーロッパ法、
家族法



東北大学法学部で学ぶ

東北大学法学部のカリキュラム

「法政ジェネラリスト」の養成

本学部が養成しようとする「法政ジェネラリスト」とは、法学・政治学に関する正確な基礎知識とともに、幅広い視野と基礎的素養をもつ人材であり、多様化・複雑化する社会において、法曹、公務員そして企業人としてリーダーシップを発揮できる人材です。本学部では、その養成の基本となるカリキュラムを用意しています。

講義科目の3つのカテゴリー

学部の講義科目は、その内容に即して「基礎講義」「基幹講義」「展開講義」に大別されています。

「基礎講義」は、法律分野の前提知識を学ぶ「私法・公法科目」（「民事法入門」など）、法学の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶ「基礎法科目」（「法と歴史I」など）、本格的な政治学学習の準備を図る「政治学科目」（「西洋政治思想史I」など）の3つの分野から構成されています。

「基幹講義」は、憲法をはじめとする六法を中心に、法学・政治学の根幹部分を重点的に学ぶ主要科目です。

「展開講義」は、「租税法」や「比較政治学I・II」など法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな知見を習得することを目的とする、先端的・学際的な科目です。

「演習」における少人数教育

さらに、以上の3つのカテゴリーの講義科目と並行して、学部4年間の全体を通して、少人数教育により各講義をフォロー

アップする「演習」が多数開設され、学部4年間の全般にわたって履修できるようになっています。演習においては、定められたテーマをめぐる討論など、学生の主体的・相互的・意欲的な学習活動によって、学びを深めます。

柔軟・自由な履修

こうした「基礎講義」「基幹講義」「展開講義」「演習」は、1年次から無理なく学習を進められるよう段階的に配置されています。その中で「基礎講義」は3つの分野から2単位ずつが選択必修とされ、幅広い基礎的素養の習得が目指されます。これに対して、「基礎講義」以外では、必修・選択必修といった縛りはなく、また特に対象学年が限定されている科目を除いては、好きな時期に履修をすることも認められており、それぞれの目的・関心に応じた自由で柔軟な履修が可能です。

さらに高度の学びを——2つのコース

法学部には、「法政ジェネラリスト」としての幅広い視野と基礎的素養の上に、より高度かつ専門的な学びを積み重ねようとする学生のために、2つのコースを開設しています。1つは、法科大学院への進学を目指す学生を想定した法曹コース、もう1つは、国際的に活躍することを目指す学生を想定した国際コースです。法曹コースは法科大学院と、国際コースは研究大学院の修士課程とそれぞれ連携して、充実した教育プログラムを提供しています。

		講 義	演 習 (少人数教育)
4年次	全学教育 全学教育科目(39単位) ○基幹科目 人間論 社会論 自然論 ○展開科目 人文科学 社会科学 自然科学 総合科学 ○共通科目 外国語 情報科目 保健体育 基礎ゼミ	展開講義 ＊法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな知見を得ることを目的とし、基幹講義よりもさらに先端的・学際的な内容を学ぶ。	多彩な演習 ＊各講義をフォローアップする演習が多数開設される。 ＊充実した少人数教育によって学生の主体的な関心・意欲に基づいた教育が行われる。
3年次			
2年次		基幹講義 ＊法学・政治学の基礎的・根幹的部分を重点的に学ぶ。	
1年次		基礎講義 ＊法や政治の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶ。	

*カリキュラムに関する記述は令和3年度のものです

法曹コース — 弁護士等の夢へ一直線

法学部・法科大学院一貫の法曹養成教育



法学部入学から最短5年で司法修習・法曹実務へ



法曹コースについては文部科学省
Webサイトも参照してください。
<https://www.mext.go.jp/3plus2/>

※連携法科大学院(東北大学法科大学院)の5年一貫型特別選抜入試では、所定の成績要件等を満たして法曹コースを修了した場合、法律科目の筆記試験が免除されます。法曹コース修了者は、この他、連携・非連携法科大学院が実施する開放型特別選抜入試を受験することもできます。

国際コース — 法学部から世界へ!

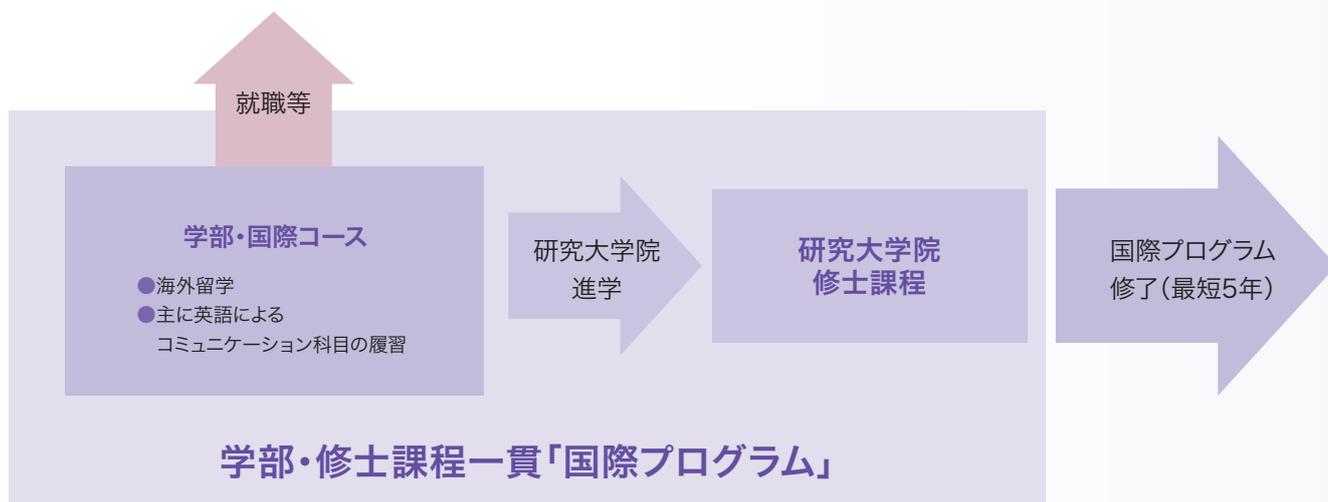
● 国際コースとは・・・

国際的な視野を備えた法政ジェネラリストを目指す法学部学生に対して、海外留学を必須とした多様な教育プログラムを提供するコースです。国際コースは、学部・修士課程を通じた教育プログラムである「国際プログラム」の中に位置づけられています。希望者は、学部の早期卒業制度と修士課程の早期修了制度を活用することにより、学部・修士課程を5年で修了することができます。

● 国際コース修了後の進路

国際コースを修了して学部を卒業した後は、

- ★ 研究大学院の修士課程への進学(国際プログラム)
- ★ その他の大学院(法科大学院、公共政策大学院、海外の大学院等)への進学
- ★ 就職(国際的な企業、国際機関、外務省、経済産業省、JICA、JETRO等)などの進路が想定されています。





学生目から見た講義・演習

東北大学法学部では、法や政治の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶ導入的な基礎講義(1・2年次)から、法学・政治学の根幹をなす基幹講義(2・3年次)を経て、より深い理解・知見を涵養するための展開講義(3・4年次)に至る多彩な講義と、それらの講義をフォローアップする少人数で行われる演習(ゼミ)が数多く開かれます。皆さんは、このように段階立てて提供される多彩な講義・演習を履修していくことによって、法学的・政治学的な思考能力と知識を無理なく体得することができるでしょう。ここでは、これらの多彩な講義・演習の一部を、学生の目を通して紹介してまいります。



演習

アジア政治経済論演習Ⅰ

政治なくして法や政策は生まれない。政治学は現実と規範を結ぶ。



岡部 恭宜
教授

【学生のコメント】

グローバル化という大きな時代のうねりの中、経済、環境、外交とますます多くの事象が密接に絡み合い大きな課題となっています。その中において「政治」はこうした多くの課題に対して何らかの解決を図っていく上で重要な位置を占めるものであることは明らかです。

年度によって取り扱う観点は異なるかと思いますが、私が参加した年度の演習ではそうした重要な要素である政治を、「制度」という観点から注意深く考察することで学んでいきました。わたしたちが暮らす日本で採用されている議院内閣制という制度はこのパンフレットをお読みになっている皆さんにとっても馴染み深いものだろうと思います。一方で他国で採用されている執政府の形態である大統領制や半大統領制についてはど

うでしょうか？

冒頭でも述べたように現代はグローバル化という大きな、そして不可逆な動きが見られる時代です。この演習には留学生も参加しており、このことからグローバル化を感じることができます。これからわれわれが「政治」を考える際には、自分たちがどういう論理で動いているのかを考えるだけではなく、相手方がどのような論理を持ち動いているかを考えていくことが大事になってくるのではないのでしょうか。この演習は討論を重視し、他の学生と意見を交わすことでその視座を与えてくれるでしょう。

他の学生と盛んに議論してみたい方、政治の本質により深く迫ってみたい方はぜひこの演習に参加してみてください。

講義

憲法

人権保障と統治原則の根幹を規定する最高法規。



中林 暁生
教授

【学生のコメント】

憲法といえば、多くの人が一度は学んだことのある法でしょう。中林先生の講義では憲法の基本的な理解を深めると共に、今日問題となっている先進的な論点についての議論にも触れることができます。

先生の講義の特徴はやはりそのレジュメの量です。2単位の授業で150ページにも及ぶレジュメには各教科書からの引用や、重要判例の内容とそれに対する社会の反応、さらには新旧司法試験の関連問題と先生自作の詳細な解説などといった学習上必要な資料が惜しみなく載せられており、少しでも情報の伝達量を増やそうという先生の配慮がそのレジュメの重みとともに伝わってきます。講義はレジュメに則って行われ、教科書の記述や判例の意義について丁寧な説明を加えてくださるため、自習では理解がおぼつかない箇所を十分に補うことができます。

講義中のメリハリも特徴の一つといえます。基本的には厳格な雰囲気の中で講義が進められ、学生のまなざしも真剣そのものですが、時折笑いととも先生の経験談が挟まれ、また先生ご自身が東北大学で学ばれたということもあって、講義の随所に東北大学法学部の歴史を感じ取ることができます。

人権保障と統治原則の根幹を規定する最高法規、それが我が国における憲法です。こう言うと仰々しいように感じるかもしれませんが、憲法は意外と私たちの身近にあるものです。何気ないように見える出来事も憲法問題に置き換えてみると、興味深い考察が得られたり、新たな視点から物事をとらえることができます。本講義はみなさんにとってもそのような発想の契機になるものではないかと思います。

	月	火	水	木	金	土	日
	起床 7:45	起床 7:45	起床 7:45	起床 7:45	起床 7:45	起床 9:00	起床 9:00
1講時	契約法・ 債権総論		行政法 I	英語 C1			勉強 10:00 ~ 13:00
2講時		憲法II	憲法III	勉強	日本外交 論演習		
3講時	展開 中国語 I	契約法・ 債権総論				バイト 10:00 ~ 21:00	掃除、 読書
4講時	バイト ~ 21:00	行政法 I	法情報 学		刑法 I		
5講時			現代政 治分析		バイト ~ 21:00		
	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00

	月	火	水	木	金	土	日
	起床 7:30		起床 7:30	起床 9:00	起床 9:00		
1講時	刑事 訴訟法	起床 10:00	刑事 訴訟法			起床 10:00	起床 10:00
2講時	会社法 I		憲法III	会社法 I	商法総論・ 商行為法		
3講時		刑事訴訟 法持論	演習準 備	演習準 備	倒産 処理法	勉強 ~ 16:00	勉強 ~ 18:00
4講時	家族法		憲法 演習III (隔週)	租税法	商取引 法		
5講時	勉強 ~ 1:00			刑法III		バイト 17:00 ~ 0:00	
	就寝 26:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 25:00	就寝 24:00

[過年度の例]

伊藤さん・中沢さんの例



伊藤さん / 4年生 (2019年当時)

出身：福島県立安積高等学校
趣味：野球観戦
所属ゼミ：なし

中沢さん / 4年生 (2019年当時)

出身：宮城県宮城第一高等学校
趣味：ツーリング
所属ゼミ：なし

中沢 法学部では一年生のうちから専門科目が履修できるよね。

伊藤 そうだね。でも基本的に一年生では一般教養科目を多く履修した記憶があるなあ。

一年生のうちに一般教養科目を多く履修して、二年生からは専門科目中心に専念するっていうのが一般的なんじゃないかな。

中沢 たしかにね。あと法学部では履修できる単位数に制限がないのもいいよね。

時間割を組むときに何か気を付けていたことはあった？

伊藤 授業をたくさん取りすぎても勉強が追いつかなくなってしまうから、自分にとって無理のない時間割を組むようにしていたよ。

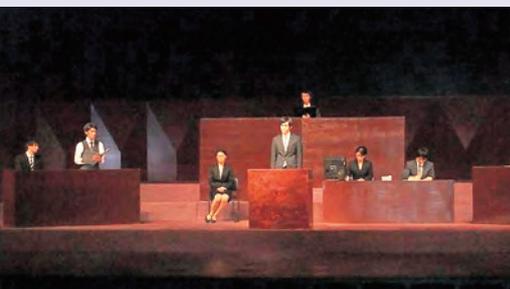
中沢 なるほど。特に専門科目は期末試験の点数によって成績が大きく左右される授業が多いから、日頃からの授業の取り組みや予習・復習が大事だよなあ・・・。

伊藤 考えることが多くて不安な一年生も多いと思うけど、それだけ自由で充実した選択肢があるということだからね。あと法学部では「自主ゼミ」という活動もあるんだ

けど、そこでは仲間や先輩との繋がりもできるから安心していろいろ聞けちゃうよ。

中沢 私たちも模擬裁判実行委員会という自主ゼミに入っているけど、自主ゼミの活動に加えて、勉強や学校生活について同期の仲間どうして助け合ったり、先輩にアドバイスをいただけたりもして、とても充実した大学生活を送れているよ。

伊藤 そうだね。僕たちの自主ゼミでは毎年学生自身の手で秋に萩ホールで「裁判劇」をおこなっているよ。そのほかにも自主ゼミでは様々な活動をしている団体があるよ。



模擬裁判実行委員会

私たち模擬裁判実行委員会は毎年秋に裁判劇の公演を行い、観ていただいた市民の皆様と法と社会のかかわりについて考えて頂くという活動をする団体です。昨年は、公演を

オンラインで実施しました。また、今年の公演で第70回目という長い歴史を持つ団体でもあります。キャストはもちろん脚本の執筆や演技指導、宣伝などのあらゆる活動をすべて学生自身の手で行っており、普段の生活ではなかなか感じることでできない充実感や達成感を味わうことができます。また、公演に向けての活動のほか、ご飯会や芋煮会、他大学との交流会など楽しいイベントを通して、学年を越えて絆を深めることができます。

公演の内容については、毎年異なる法律問題を一つ取り上げ、それをテーマとして物語が展開していきます。実際に裁判が行われる法廷シーンのほか、主人公の日常を描いたシー

ンなどを盛り込むことで観客の皆さんに分かりやすく、そして身近な問題として考えて頂けるように努力しています。公演を観て模擬裁判実行委員会に憧れて入ってくる新入生もいるくらいですので、今年も高校生の皆様の刺激になるものをお届けできるかと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

TEL:022-795-6242(呼)
HP:<http://tohokumogisai.jimdo.com/>
Twitterアカウント:@tohoku_mogisai



文科系総合講義棟

講義棟の2階には授業を行う講義室が設置されており、1階フロアには、学生のためのコモンスペースや国際交流スペース、更に売店や証明書自動発行機が設置されています。



リフレッシュスペース

法学部棟2階に設置されているスペースで、学生が、各々授業の間の休憩場所として、あるいは自習場所、学生同士のミーティング等の場所として使っています。



法学部図書室

大学の附属図書館とともに、法学部における研究・学習を支える大切な施設で、参考となる法学・政治学分野等の書籍及び雑誌などが所狭しと置かれています。蔵書は、東北大学図書館ウェブサイトから、オンラインで検索できます。



演習室

法学部では、大講義室での授業の他に、少人数で授業を行うための部屋が用意されています。大人数での授業と違った雰囲気、大学らしい授業が味わえる場所にもなっています。



卒業後の進路は？

卒業生の声

東北大学法学部の卒業生は、大学時代に身につけた幅広い経験と深い思考力を生かして、企業、官公庁(国家公務員ないし地方公務員)、法曹界(弁護士・裁判官・検察官)、学界等で大いに活躍されています。ここでは、各界で活躍されている卒業生の声を聞いてみることにしましょう。



卒業後の進路は？



**勉強だけではなくあらゆる経験を積んでください。
それが卒業後の社会人基礎力となります。**

鹿野 未希子(2015年度卒業)

職業 経済産業省勤務

私は2016年に卒業し、経済産業省に入省いたしました。1年目は円借款や海外投融資というツールを用いたインフラ輸出政策に携わり、2・3年目は中小企業白書という法定白書を執筆する部署に勤務しています。経産省では数年の間で、一見すると業務内容が全く関連の無い部署に異動となり、ジェネラリストとして活躍できる力を身につけていきます。

勉強には好きなだけ打ち込むことができました。関心分野に応じた講義やゼミを選ぶことができ、私は民法、刑法、外交のゼミに所属していましたが、一人でじっくり考えることも、またゼミ生同士で議論を重ねることもできました。時には教授陣を交えて飲み会が開催されたりと、密度の高い時間を過ごせたと感じています。

大学時代、1、2年生の時はソフトテニスのサークルに参加していました。法学部内での活動をメインにする法学部生が多かったのですが、学部を超えた人と関わり、多様な価値観に触れ、物事を俯瞰的に見ることのできるよう視野を広げることも大切です。

東北大学法学部からは、法曹、公務員、民間企業のいずれの職種へも、その道に進むための努力を怠らなければ納得の行く結果が得られると思います。講義やゼミの活動を通じて物事をロジカルに思考する力を身につけられ、これは法学に限らずどの分野でも必ず役に立つ社会人基礎力となります。

また、都会でありながら自然の溢れる仙台の地で、本業である

最後に、勉強だけではなくあらゆる経験を積み、法学部での4年間を楽しんでいただければと思います。



知的好奇心を満たしてくれる最高の場所

西條 琴子(2016年度卒業)

職業 パナソニック株式会社

私は現在、パナソニックのマーケティング部門で、日本地域における洗濯機のマーケティングを担当しています。営業の商談内容や市況(シェアや総需要)を分析し、当月何台売れるか見通しを立て、工場に生産を繋ぐというのが今の仕事内容です。いつか自分の企画した商品を世に出すことを夢見ています。

パートナー制度に興味を持ったことから留学を決意しました。留学までの期間は、他学部の西洋美術史や言語学のクラスを受講し、フランスとフランス語に関する知識を深めました。また帰国後には、留学中、旅行先のセルビアで目撃した難民に衝撃を受け、国際関係論のゼミで難民問題を取り上げました。文献として参照したのはフランス紙です(勿論フランス語!)

さて、学生時代を振り返ってみると、決して将来を見据えていた訳ではなく、好きなことや興味を持ったことをとことん追求した4年間だったように思います。そして東北大学法学部は、カリキュラムが柔軟で自由度が高く、自分次第で学びの幅を大いに広げられる場所だと思います。

興味を持ったら大抵のことは学べる環境が整っています。そして教授や友人たちも、後押ししてくれる人ばかりでした。友人は本当に多才な人ばかりで、彼らとの出会いは学生生活のスパイスであり貴重な財産となっています。きっとみなさんが入学される頃も変わらないはず。東北大学法学部で素敵な学生生活を送られることを願っています

私の学生生活と切っても切り離せないのがフランス留学です。語学の授業でフランス語に魅了され、家族法の授業でフランスの



卒業後の進路は？



アットホームな環境で、勉強やアルバイト、遊びに自由に楽しく打ち込めます。

荒木 昭子(2006年度卒業)

大学、法科大学院と、約6年間の学生生活を仙台で過ごした後、2011年1月から、はじめて住む東京で、弁護士として働いています。主に企業のお客様と一緒に、個々のケースの最善の解決は何か、頭を悩ませつつ、充実した毎日を送っています。

東北大学法学部の一番の特徴は「アットホーム」という点だと思っています。学生の人数が少ないため、ほとんどみんなが顔見知りの関係ですし、授業も比較的小人数で、教授との距離感も近いです。また、キャンパスのある仙台的な街は、都会で洗練されているのに小ぢんまりとしていて、そういったところもアットホームな雰囲気をつくりだしている要因のひとつなのかな、と思います。そんな居心地のよい環境で、お勉強やアルバイト、遊びに自由に楽しく打ち込んだ4年間は、とても密度の濃い時間でした。

そのような濃い4年間の中でも、私が一番打ち込んだのは、ゼミ

大学院 2008年度東北大学法科大学院修了 職業 弁護士

での活動です。私は、憲法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、日本政治外交史など多くのゼミに所属しました。学生同士の距離、学生と教授との間の距離が近いので、分からないことがあれば、ゼミの時間はもちろん、時間外であっても、気軽に議論できます。ゼミの後には、頻りに飲み会も開催され、時には教授も含めて朝まで飲み明かすということもありました。

私は、弁護士になりたいという強い目的意識を持って大学に入学したわけではありません。ですが、東北大学法学部という居心地のよい環境で学ぶことを通して、「法律って面白い」と思えたことが、自然と、弁護士という現在の職業につながっているような気がします。

大学生活ほど自分のやりたいことを自由に実現できる時間は、そう多くはないと思います。みなさんにも、そんな自由な4年間を、東北大学法学部という素敵な環境で存分に謳歌してほしいな、と思います。



きっかけをくれる場所

稲垣 紀穂(2017年度卒業)

私は現在、法科大学院に進学し、司法試験に向け勉強に励んでいます。と言うと、あたかも学部時代から懸命に勉強していたように聞こえるかもしれませんが、実際はそんなことはありません。どちらかと言うと、法律、或いは学部と、関わりの薄い学生でした。

学部時代、私が一番力を入れていたのは、サークルの活動でした。私はそこで部長を務めていたんですが、この仕事がなかなか曲者で。部の運営は勿論のこと、指導して下さる先生とサークルとの接点として働いたり、周年行事に励んだり、こなした仕事の量はかなり多かったはずでした。

はじめこそやるのに精一杯で、泣きながら(比喩でなく)仕事をしてい

大学院 東北大学法科大学院L3(2019年度当時)

ましたが、やはり次第に慣れていきます。そんな辺りからなんとなく、もしかしたら自分には要領よく、色々調整しながら仕事をこなすのが得意なのかもしれない、と思うようになりました。今思うと、ひどい自惚れですね。

ただ、こんなような経験をしながら、いつからか自分の能力がどこまで通用するのか試したくなった。そんな折に思いついたのが、法を駆使して要領よく利益を調整する、法曹という職業で、今はそこに向かって励んでいる、という感じです。

大学受験を控えている皆さんのうち、将来の目標を具体的に持っている人は意外と少ないのかもと思います。本学は学生に多くのきっかけを与えます。まだ具体的に進路を決めていない人たちこそ、このきっかけをものにできるんじゃないでしょうか。もう少し自分について考えてみれば、ぜひ本学を受験することをお勧めします。



多くの仲間と共に質の高い学習ができます。

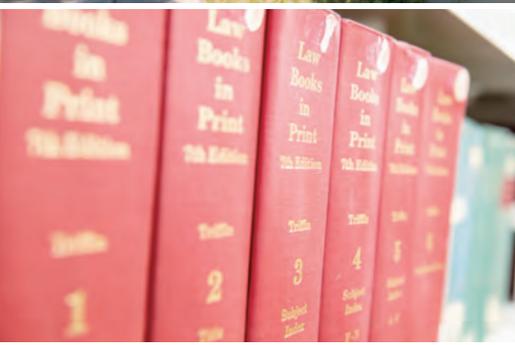
石橋 佳奈実(2018年度卒業)

私は2018年度に東北大学法学部を卒業し、現在は仙台市役所に勤めています。私の出身地は北海道で、大学進学を機に仙台市を訪れました。大学生活を仙台市で過ごしていくうちに、政令指定都市でありながら緑の多い街並みや温かい地域の人々に接していき、仙台市への愛着が強くなり、仙台市のために働きたいと感じるようになりました。

地方公務員は、様々な側面から市民の生活をサポートする仕事です。市民の皆様になめて頂いた税金をもとにして働くため、非常に責任の重い仕事ですが、その分やりがいを感じられる仕事でもあります。私は仙台市をより良い街にするため東北大学で学んだ知識を地域に還元していきたいと思っています。

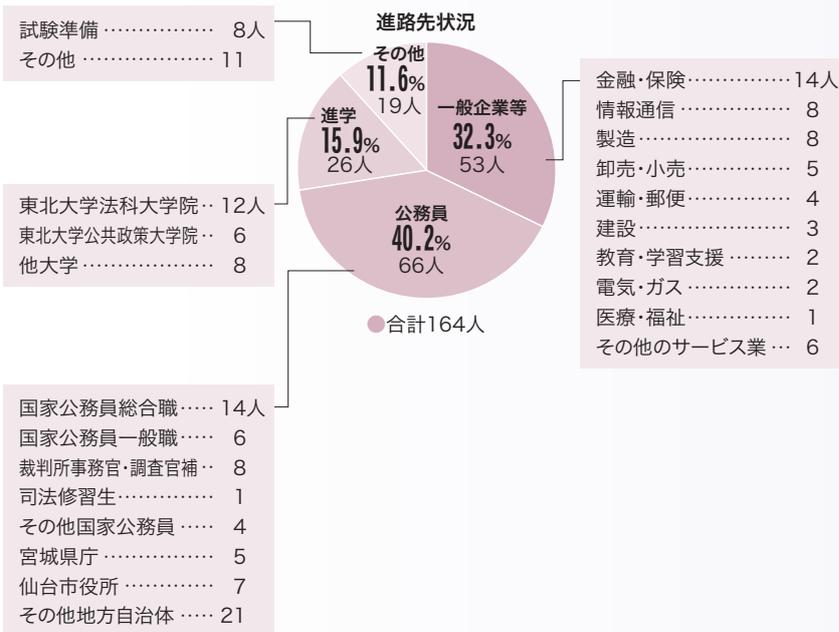
職業 地方公務員(仙台市役所)

東北大学法学部は、主な進路として法科大学院への進学や民間企業就職の他に、公務員という選択をする人も多くいます。大学3年生から始まる大学生協主催の公務員講座は、法学部だけでなく、他学部の方も一緒に受講し、仲間たちと切磋琢磨しながら約一年間共に公務員試験へ向けて勉強します。公務員講座で出会った仲間たちは、卒業後も助け合えるかけがえのない友人になりました。東北大学は質の高い学習の場や、様々なバックグラウンドを持ち刺激し合える仲間との出会いの場を提供してくれます。大学生活は高校までの生活と異なり、自由度が高い分、充実したものにできるかどうかは自分次第です。皆さんも様々な経験や多くの出会いを通して、大学生活を充実したものにしてください。



卒業生の進路

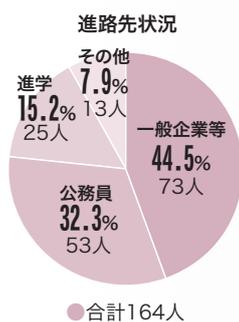
令和2年度



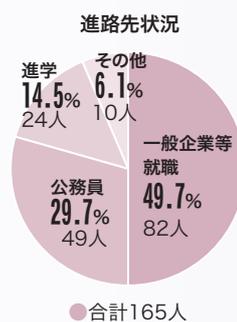
主な就職先

日本銀行、日本政策金融公庫、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、りそな銀行、七十七銀行、SMBC日興証券、大和証券グループ、農林中央金庫、信金中央金庫、日本放送協会、ソフトバンク(旧ソフトバンクモバイル)、野村総合研究所、NTTコミュニケーションズ、日立製作所、日本製鉄、森永製菓、東ソー、タマホーム、ジーユー、ニトリ、キヤノンマーケティングジャパン、日本郵船、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、東京臨海高速鉄道、新京成電鉄、大林組、東北電力 など

令和元年度



平成30年度





入試情報

東北大学法学部では、主に「一般選抜入学試験(前期日程)」「AO入試(総合型選抜)Ⅱ期」「AO入試(総合型選抜)Ⅲ期」という3つの入学者選抜方法を設けています。

法学部は、良き社会の構築に寄与する知的人材の育成を理念としています。そのため、入試では、現代社会の直面する諸問題に関心を持ち、大学で養った法学的・政治学的知識と思考力を活かして、社会に貢献する意欲のある人を求めています。

AO入試では、特に、国内の地域社会からグローバル社会にわたる法的・政治的諸問題への関心を強く持ち、論理的思考力と英語能力を有する人(AO入試Ⅱ期)、現代社会に生じる法的・政治的諸問題についての幅広い関心と、法律・行政に関する実務や研究に将来携わろうとする強い意欲を持つ人(AO入試Ⅲ期)を求めています。そのため、AO入試では、書類審査の評価と面接試験が実施されます。

【募集人員】

	定員160名
一般選抜入試 (前期日程)	112名
AO入試Ⅱ期	24名
AO入試Ⅲ期	24名

【入試制度の概要】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試*1 (前期日程)	大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)	個別学力試験 (国語、数学、外国語)
AO入試Ⅱ期 *2*3	出願書類の審査 + 筆記試験 (英文読解力、論理的思考力)	面接試験
AO入試Ⅲ期 *2	出願書類の審査 + 大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)	面接試験

*1 一般選抜では、「主体性評価チェックリスト」を最終段階選抜で活用します。

*2 AO入試では、東北大学法学部での勉学を強く志望し、合格した場合には必ず入学することを確約できることが出願要件です。

*3 AO入試Ⅱ期では、現役であること、かつ、調査書の学習成績概評がA段階であることも出願要件となります。

【配点】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試 (前期日程)	*1	大学入学共通テスト 450、個別学力試験 900 計 1,350
AO入試Ⅱ期	出願書類 100 + 筆記試験 900 (英文読解力、論理的思考力)	筆記試験 900、出願書類 100、 面接試験 300 計 1,300
AO入試Ⅲ期	*2 出願書類 100 + 大学入学共通テスト 900 (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)	大学入学共通テスト 900、出願書類 100、 面接試験 300 計 1,300

*1 志願者数が募集人員を大幅に上回り、個別学力試験を適切に実施できない場合に、大学入学共通テストの成績(素点)により、選抜を実施します。

*2 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合に実施します。

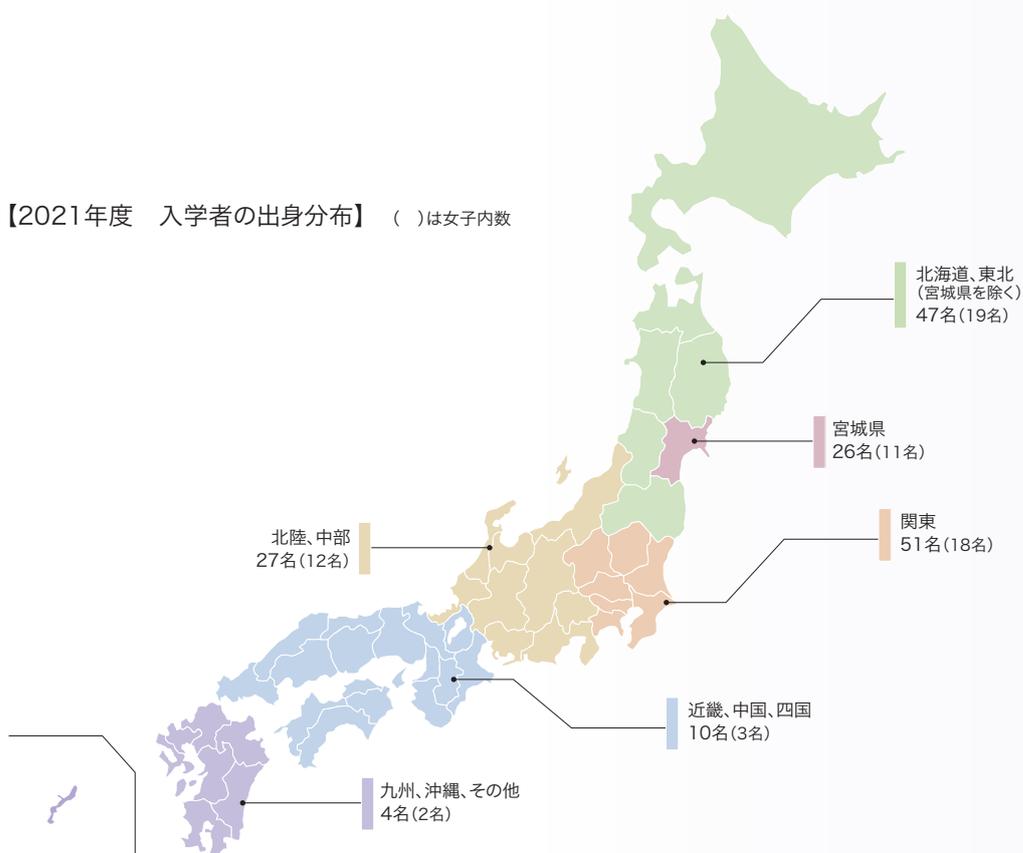
【2022年度 入試日程】

	大学入学共通テスト	筆記試験	面接試験
一般選抜入試 (前期日程)	2022年1月	2022年2月25・26日	——
AO入試Ⅱ期	——	2021年11月6日	2021年11月20日
AO入試Ⅲ期	2022年1月	——	2022年2月7日

【2021年度 入試実施結果】

	定員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数	入学者数
一般選抜入試 (前期日程)	112	331	—— (実施なし)	124	117
AO入試Ⅱ期	24	78	36	24	24
AO入試Ⅲ期	24	46	36	24	24

【2021年度 入学者の出身分布】 ()は女子内数



【その他】

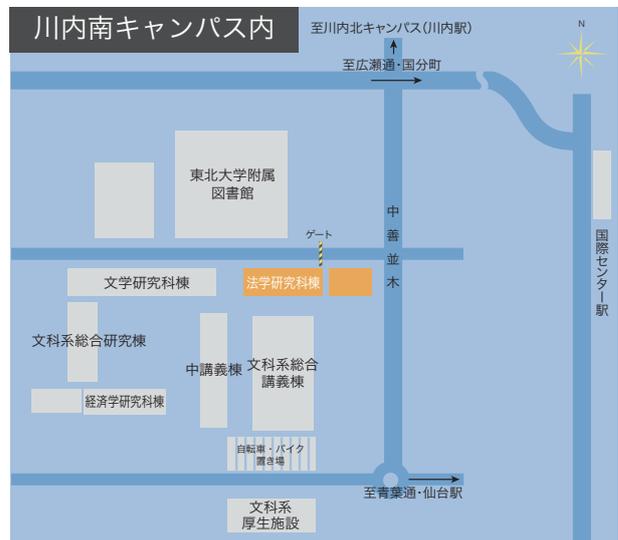
※最新の情報は、必ず、東北大学入試センターのウェブサイトをご確認ください。
 ※2022年度の入試には今後変更が生じる場合がありますこと、ご了承ください。

SENDAI AREA MAP



東北大学法学部生の生活エリア

東北大学法学部生の生活環境を紹介します。住んでいる場所では、川内三十人町、角五郎、八幡、子平町、柏木などが多いようです。大学に近いので、学生向きのアパートが多く、家賃も4~6万円程度となっています。通学は、公共交通機関で通学する人が多いですが、自転車でも15分程度で通うことができる場所のため、自転車を利用する人も多いです。川内キャンパスから、広瀬川を越えていくと、仙台の街に出ることができます。買い物に便利が一番町や飲食店の多い国分町には、歩いて20分、地下鉄なら5分程度で行くことができます。緑豊かなキャンパスから一転、ほどなくして街の中心部へ出る感覚は、不思議な感覚です。それほど街の中心部の近くにありながら、キャンパスは常に穏やかな佇まいで、勉強や研究を計画的に進めることができる環境です。2015年(12月)の地下鉄東西線の開業により、キャンパスへのアクセスがますます便利になりました。仙台は東北最大の街ですが、便利さと自然とのバランスが良く、とても生活しやすい所です。活気と落ち着きを兼ね備えた仙台の街で、ぜひ充実した大学生活を送ってください。



交通アクセス

■仙台市地下鉄(東西線)「川内駅」又は「国際センター駅」下車
(「仙台駅」から「八木山動物公園」行に乗り)

●お問い合わせは

東北大学法学部・法学研究科

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

TEL.022-795-6175(教務係)

ホームページ: <http://www.law.tohoku.ac.jp/>

発行日:2021年6月